

平成 20 年 10 月 29 日  
東京都板橋区小豆沢 3-6-10  
オリエンタル酵母工業株式会社

## 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結決算発表

### 平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算概要

当社グループは、原材料価格の高騰やエネルギー関連コストの上昇が継続する中、食品・バイオの両部門ともに、生産性の向上や新製品上市による拡販などを推進してまいりました。また、原材料費やエネルギー費などのコストアップは、企業内努力で吸収出来るレベルを超えており、適時主要製品の価格改定を実施いたしました。

食品部門は、イーストやパン品質改良剤等の出荷が減少し、またイーストやマヨネーズ類のコストアップも吸収し切れませんでした。他方、拡販に注力したことで、油脂加工品や総菜・ミネラル酵母などの出荷は好調でした。バイオ部門は、医薬品業界の業界再編が進み、製薬企業の研究開発施設の統廃合や外資系製薬企業の研究部署の日本からの一部撤退など、研究開発の見直しによる研究支援事業の受注減少、および養魚用飼料の出荷が減少し全般的に低調に推移しました。しかしながら、海外向けを含め酵素・補酵素等の生化学製品は出荷が伸張するとともに、免疫製品も好調に推移しました。

連結業績につきましては、売上高は拡販や主要製品の価格改定効果もあって 318 億 54 百万円となりましたが、原材料コストの継続的な上昇と価格改定の遅れにより経常利益は 7 億 54 百万円、四半期純利益は 3 億 75 百万円となりました。

### 平成 21 年 3 月期 今期連結業績予想

平成 21 年 3 月期におきましては、引続き新製品の上市を進めるとともに、適時・適切に主要製品の価格改定を進め、収益改善を図ってまいります。また、製品の安全・安心を確保すべく、生産管理の徹底とトレーサビリティシステムの強化も踏まえた品質管理体制の更なるレベルアップを図ってまいります。また、海外子会社を活用して積極的に販路を拡大してまいります。

連結業績につきましては、平成 20 年 9 月 24 日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に、変更はございません。

以上